### 環境委員会資料 令和6年11月21日

- 1 令和6年第4回定例会提出予定議案の説明
- (4) 議案第185号

川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

資料 川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部 を改正する条例の制定について

### 上下水道局

# 説明内容

- 1 水道法施行令の一部改正の主な内容 (布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の見直し)
- 2 川崎市水道事業の布設工事監督者及び 水道技術管理者の資格等に関する条例
- 3 条例改正の内容
  - 3-1 布設工事監督者の資格要件(第3条)
  - 3-2 水道技術管理者の資格要件(第4条)
- 4 条例新旧対照表

### 1 水道法施行令の一部改正の主な内容

(布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件見直し)

#### (1) 布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件見直しの背景

水道整備・管理行政の機能強化や携わる職員数の減少に伴い、水道法にて水道事業者に設置が定められており、水道法施行令にて資格要件が定められている布設工事監督者や水道技術管理者の確保が困難となっていることから、資格要件の見直しが行われた。

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令による水道法施行令の一部改正(令和6年3月29日公布、布設工事監督者や水道技術管理者の資格要件の改正部分は令和7年4月1日施行)

#### (2)条例改正に関係する水道法施行令の一部改正の主な内容

- ア 下水道等の他の社会資本整備や災害対応に関する専門的な能力・知見を活用しつつ、下水道等の他の社会資本と一体的な整備等を進めることにより、水道整備・管理行政の機能強化を図るため、**布設工事監督者の資格要件について、**現行では水道に関する実務経験のみを対象としているところ、**下水道等に関する実務経験を含めることとされた。**
- イ 水道施設の老朽化や耐震化へ対応するための工事等の増加や水道整備・管理行政に携わる職員数の減少に伴い、布設工事監督者の確保が困難となっていることから、<u>布設工事監督者の学歴及び学科要</u>件において土木工学科(土木科)以外の課程を追加することとされた。
- ウ 布設工事監督者や水道技術管理者の資格要件について、現行では大学の土木工学科又はこれに相当 する課程において衛生工学又は水道工学に関する学科目を履修した者は、必要とする実務従事経験年 数を1年間短縮しているところ、履修科目にかかわらず、3年以上の実務従事経験を必要とすることとさ れた。

### 川崎市の対応

第2次地域主権改革一括法に伴う、水道法の一部改正(平成24年4月1日施行)において、水道事業者が地方公共団体である場合には、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件を政令(水道法施行令)で定める要件を参酌して条例で定めることとなったため、川崎市では「川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例」にて資格要件を定めている。

#### 布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の規定

	围	「水道法施行令」
		第5条(布設工事監督者の資格)及び第7条(水道技術管理者の資格)
JI	川崎市	「川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等 に関する条例」
		第3条(布設工事監督者の資格)及び第4条(水道技術管理者の資格)

### 3 条例改正の内容

#### 3-1 布設工事監督者の資格要件(第3条)

	技術上の 実務経験 <mark>※</mark>			
	土木工学科又 はこれに相当 する課程	<del>衛生工学又は</del> <del>水道工学を履修</del>	2年以上	
大学卒業		上記以外を履修	3年以上	
	機械工学科・電気工学科又は これに相当する課程		4年以上	
短期大学卒業 高等専門学校卒業	土木科又はこれ	これ当する課程	5年以上	
専門職大学前期課 程修了	機械科・電気科		6年以上	
高等学校卒業	土木科又はこれ	に相当する課程	7年以上	
中等教育学校卒業	機械科・電気科		8年以上	
水道の工事に関する技術上の実務経験のみ 10年以上				
上下水道事業管理者が上記と同等以上の技能を有すると認める者				

衛生工学又は水道工学に関する学科目を修めて卒業した者について、必要とする技術上の実務経験年数を短縮しないこととするもの

機械工学科(機械科)若しくは電気工学科(電気科)又はこれに相当する課程を修めて卒業した者について、必要とする技術上の実務経験年数を「10年」から短縮するもの

水道以外の工業用水道、下水 道、道路又は河川に関する経 験年数も算入することを可能 とするもの

※技術上の実務経験年数のうち少なくとも半分は水道に関する 実務経験を有すること

# 3 条例改正の内容

### 3-2 水道技術管理者の資格要件(第4条)

	技術上の 実務経験	
布設工事監督者の資	不要	
	土木工学	3年以上、
大学卒業	土木工学以外の工学、理学、農学、医学、薬学 に関する学科目又はこれらに相当する学科目	4年以上
	工学、理学、農学、医学、薬学に関する学科目 並びにこれらに相当する学科目以外の学科目	5年以上
短期大学卒業	土木工学	5年以上
高等専門学校卒業 専門職大学前期課	土木工学以外の工学、理学、農学、医学、薬学 に関する学科目又はこれらに相当する学科目	6年以上
程修了	工学、理学、農学、医学、薬学に関する学科目 並びにこれらに相当する学科目以外の学科目	7年以上
	土木工学	7年以上
高等学校卒業 中等教育学校卒業	土木工学以外の工学、理学、農学、医学、薬学 に関する学科目又はこれらに相当する学科目	8年以上
	工学、理学、農学、医学、薬学に関する学科目 並びにこれらに相当する学科目以外の学科目	9年以上
水道の工事に関する技術上の実務経験のみ 10年以		
上下水道事業管理者が上記と同等以上の技能を有すると認める者		

衛生工学又は水道工学に関する学科目を修めて卒業した者について、必要とする技術上の実務経験年数を短縮しないこととするもの

「布設工事監督者の資格を有するもの」が削除されたこと に伴う所要の整備を行うもの

# 4 条例新旧対照表

川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
○川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関す	○川崎市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関す
る条例	る条例
平成24年12月14日条例第95号	平成24年12月14日条例第95号
(布設工事監督者の資格)	(布設工事監督者の資格)
第3条 法第12条第2項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれ	第3条 法第12条第2項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれ
かに該当する者であることとする。	かに該当する者であることとする。
(1) 学校教育法 (昭和22年法律第26号) による大学 (短期大学を除く。	(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)による大学(短期大学を除く。
以下同じ。) において土木工学科又はこれに相当する課程	以下同じ。) <u>の</u> 土木工学科又はこれに相当する課程 <u>において衛生</u>
を修めて卒業した後、 <mark>3</mark> 年以上水道 <mark>、</mark>	<u>工学又は水道工学に関する学科目</u> を修めて卒業した後、 <u>2</u> 年以上水道
工業用水道、下水道、道路又は河川(以下この条において「水道等」と	
いう。)に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (1年6月以	に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)	
(2) 学校教育法による大学において機械工学科若しくは電気工学科又は	(2) 学校教育法による大学 <u>の土木工学科又はこれ</u>
これらに相当する課程	に相当する課程 <u>において衛生工学及び水道工学に関する学科目以</u>
を修めて卒業した後、 <u>4</u> 年以上水道 <mark>等</mark> に関する技術上の実務	<u>外の学科目</u> を修めて卒業した後、 <u>3</u> 年以上水道_に関する技術上の実務
に従事した経験を有する者 (2年以上水道に関する技術上の実務に従事	に従事した経験を有する者
した経験を有する者に限る。)	
(3) 学校教育法による短期大学(同法による専門職大学の前期課程を含	(3) 学校教育法による短期大学(同法による専門職大学の前期課程を含
む。)又は高等専門学校(次号において「短期大学等」という。)にお	む。)又は高等専門学校にお
いて土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後(同法による専	いて土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後(同法による専
門職大学の前期課程にあっては、修了した後。次号において同じ。)、	門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、
5年以上水道 <mark>等</mark> に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 <u>(2年</u>	5年以上水道_に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)	
(4) 短期大学等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課	(新設)
程を修めて卒業した後、6年以上水道等に関する技術上の実務に従事し	
た経験を有する者(3年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験	

# 4 条例新旧対照表

(4) 学校教育法による高等学校又は中等教育学校 (次号において「高等学校等」という。)において土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、7年以上水道空に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(2年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者と認める者(本道技術管理者の資格)第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号、信息生まる学校を企業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修工した後)、同条第1号に対しては3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修工した後)、同条第1号に対しては3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修工した後)、同条第1号に対しては7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者については7年以上水道に関する技術上の実施に第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以第3号を対しては7年以上水道に関する技術上の実施に第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条件に対しては7年以上水道に関する技術上の実施に第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以前条件に対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	改正後	改正前
(4) 学校教育法による高等学校又は中等教育学校 学校等」という。)において土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (6) 高等学校等において機械科査しくは電気科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道を関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道を関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事を関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道等の工事を関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(水道技術管理者の資格)第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに設当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科査による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第3号に規定する学校と卒業した者については5年以上、同条第3号に規定する学校において土木工学以(2)前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以		rix TE Hil
学校等」という。)において土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、7年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する書と限る。) (6) 高等学校等において機械科者しくは電気科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各分に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(、道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各分のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者とは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した後、同条第1号、第3号又は第5号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校と卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	the last report of the state of the second control of the second of the	(4) 心坛势态池)= トス宣然心坛刀(+由数数态心坛
業した後、7年以上水道生間する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する書と限る。) (6) 高等学校等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する護盤を作する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各分に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号、第3号又は第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、加速に関する技術上の実務に従事した経験を有する者) (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学以、「1 前条の規定により布設工事監督者たる資格を有する者) (2) 前条第1号、第3号以は第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、元第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、元第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、元第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、元第5号に規定する学校において土木工学以、「1 前条の規定により布設工事監督者たる資格を有する者) (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以、「1 前条の規定により不設工事監督者たる資格を有する者) (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以		
る者 (3年6月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する 者に限る。) (6) 高等学校等において機械科者しくは電気科又はこれらに相当する課 程を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道空の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科上くは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した後)、同条第1号、第3号以第4号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以		
者に限る。) (6) 高等学校等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、8年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者(水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれがは該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に力で対象を存在しては5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に対定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に対定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に別でする学校とおいて土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以の前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土工学の対象を対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対		
(6) 高等学校等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課 整を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者 (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学以	MATERIAL A	る者
<u>程を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)</u> (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者 (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号、第3号又は第5号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号で発生を楽した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号で発生を楽した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号で表達した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号であることとする。 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上、高条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者。(2) 前条第1号、第3号又び第4号に規定する学校において土木工学以		
た経験を有する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)     (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)     (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者     (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。     (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科       古による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した後)、同条第1号に対定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者に同法による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した者)については5年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者については7年以上、直条第3号に規定する学校を卒業した者については7年以上、直条第3号に規定する学校を卒業した番(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した者)については7年以上、直条第3号に規定する学校を卒業した番(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修丁した者)については7年以上、直条第3号に規定する学校において土木工学以       (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以       (3) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者       (4) 20年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事と同等以上の技能を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (5) 10年以上水道。の工事に関する技術上の実務に従事を有する者       (6) 上下水道・大部では関する技術との実務に従事を有する意味を有するまた。       (7) 10年以上水道・大部では関する技術上の実務に従事と対策を有するまた。       (7) 10年以上、同様は、       (7) 10年以上、同様は、       (7) 10年以上水道・大部では、       (7) 10年以上水道・大部では、       (7) 10年以上に対策を対する対策を	(6) 高等学校等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課	(新設)
を有する者に限る。) (7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者 (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号、第3号区規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号、第3号区規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、一員条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、一員条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、一員条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、一員条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、「一員条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、「一員条第1号に規定する学校において土木工学以上、「一員条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、「一員条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、「一員を開いて、「一員を開いて、「一員を開いて、「一員を開いて、「一員を開いて、「一員を開いて、」」 (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以上、「一員を開いて、「一員を開いて、「一員を開いて、」」 (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	程を修めて卒業した後、8年以上水道等に関する技術上の実務に従事し	
(7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。) (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者 (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者上くは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において	た経験を有する者(4年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験	
る者 (5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)  (8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有すると認める者 (水道技術管理者の資格)  第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において	を有する者に限る。)	
図8	(7) 10年以上水道等の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有す	(5) 10年以上水道_の工事に関する技術上の実務に従事した経験を有す
図8	る者(5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に	る者
と認める者 (水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科 若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	限る。)	
(水道技術管理者の資格) 第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において	(8) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有する	(6) 上下水道事業管理者が前各号に掲げる者と同等以上の技能を有する
第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれかに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科 若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において	と認める者	と認める者
かに該当する者であることとする。 (1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科 若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	(水道技術管理者の資格)	(水道技術管理者の資格)
(1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科 若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれ	第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は、次の各号のいずれ
(1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科 若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	かに該当する者であることとする。	かに該当する者であることとする。
者しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者  (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において  (2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	(1) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において土木工学科	(1) 前条の規定により布設工事監督者たる資格を有する者
号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定 する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、 修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業し た者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有 する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において(2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後(学校教	07 C002 11
号に規定する学校を卒業した者については3年以上、同条第3号に規定 する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、 修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業し た者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有 する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において(2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以	育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1	
する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、 修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業し た者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有 する者 (2) 前条第1号、第3号又は第5号に規定する学校において(2) 前条第1号、第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以		
<u>修了した者)については5年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者</u> (2) 前条第1号、第3号 <u>又は第5号</u> に規定する学校において(2) 前条第1号、第3号 <u>及び第4号</u> に規定する学校において <u>土木工学以</u>		
た者については7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者         (2) 前条第1号、第3号       又は第5号       に規定する学校において    (2) 前条第1号、第3号 及び第4号 に規定する学校において 土木工学以		
する者         (2) 前条第1号、第3号       又は第5号       に規定する学校において       (2) 前条第1号、第3号       及び第4号       に規定する学校において       土木工学以		
(2) 前条第1号、第3号 <u>又は第5号</u> に規定する学校において(2) 前条第1号、第3号 <u>及び第4号</u> に規定する学校において <u>土木工学以</u>		
	TO THE MENTING AND VIEW THE THE DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF	(2) 前条第1号 第3号及び第4号に規定する学校において土木工学以
[[字] [[字] [[字] [[字] [[字] [[字] [[字] [[字]	工学、理学、農学、医学若しくは薬学の課程 又はこれらに	

# 4 条例新旧対照表

相当する学科目

相当する課程(土木工学科及び土木科並びにこれらに相当する課程を除く。)を修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については4年以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した者)については6年以上、同条第5号に規定する学校を卒業した者については8年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者

- (3) 10年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (4) 上下水道事業管理者が<u>前3号</u>に掲げる者と同等以上の技能を有する と認める者

修めて卒業した後(学校教育法による専門職大学の前期課程にあっては、 修了した後)、同条第1号に規定する学校を卒業した者については4年 以上、同条第3号に規定する学校を卒業した者(同法による専門職大学 の前期課程にあっては、修了した者)については6年以上、同条第4号

に規定する学校を卒業した者については8年以上水道に関する技術上の 実務に従事した経験を有する者

- (3) 10年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (4) 上下水道事業管理者が<u>前2号</u>に掲げる者と同等以上の技能を有する と認める者